

**学習塾**

**受講生募集**

**「晦巖日記学習塾」では金剛山大隆寺第15代住職 晦巖が記した日記の解読を**

**進めています。**

**学習塾では、受講生を随時募集しており、どなたでも参加が可能です。**

**古い字を解読してみたい方、江戸期の宇和島藩政や庶民の生活に興味のある方、**

**お気軽にお問い合わせください。**

**【開 催 日】毎月第1、第3土曜日（10:30～12:00）**

**【開催場所】宇和島市立中央公民館（宇和島市堀端町1番25号）**

**【講　　師】渡部良彦さん**

**【参加申込・問合先】宇和島市教育委員会 文化・スポーツ課**

**☎0895-49-7033 E-meil bunkap@city.uwajima.lg.jp**

**晦巖日記(まいがんにっき)学習塾　参加申込書**

|  |  |
| --- | --- |
| **ご住所** | **〒** |
| **お名前** |  |
| **連絡先** |  |

**学習塾に参加されたい方は、宇和島市教育委員会文化・スポーツ課に電話、E-mailでお申し込みいただくか、**

**この参加申込書に必要事項をご記入のうえ、宇和島市教育委員会文化・スポーツ課までご提出ください。**

**漚生漚滅轉大法輪**（漚生漚滅、大法輪を轉ず。） **灰頭土面不存纖塵**（灰頭土面、纖塵を存ぜず。） **龍宮海藏魚目混蠙**（龍宮海藏、魚目蠙に混ず。） **盲喝瞎棒弄假成眞**（盲喝瞎棒、假を弄して真と成す。） **誰知巧盡拙出笑殺遇舜若多神**（誰か知らむ、巧盡きて拙出舜若多神を笑殺せしむるを。） **明治二年己巳南至前一日**（明治二年己巳南至前一日） **晦巖自題照子**（晦巖自ら照子に題す。） **時年七十有二**（時年七十有二。）

**【意　訳】**うたかたの身(晦巖)が、偉そうにも仏法を説きよるわい。
身も飾らず、俗気も無いが、宝石に混じった小石じゃもの。
誤魔化しだらけの説得じゃ。いったい誰が気づこうかいの。
死後、塗りが剥げて舜若多神に笑われようとは。

金剛山大隆寺第15代住職 晦巖(まいがん)。寛政10年(1798)に生まれ、文化4年(1807)に出家。深く漢学に通じ、京都等に遊学して豊かな知識を蓄えたとされています。宇和島市の指定文化財「晦巖日記(まいがんにっき)」は、天保3年(1832)から明治5年(1872)までの晦巖の日々の記録です(但し現存するのは文久元年(1861)までのみ)。上段の記述は、晦巖が自らの事を述べたものです。現在、「晦巖日記学習塾」の皆さんによって解読が進められており、令和４年３月には解読版の第六集が出版されました。

日記には日々の天気や人事応接等の記録が記されていて、当時の暮らしや晦巖の感じたことなどが、読み取れます。

